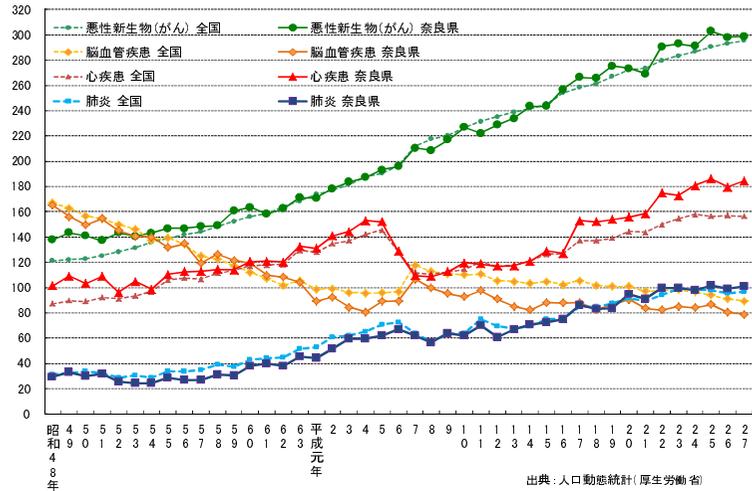
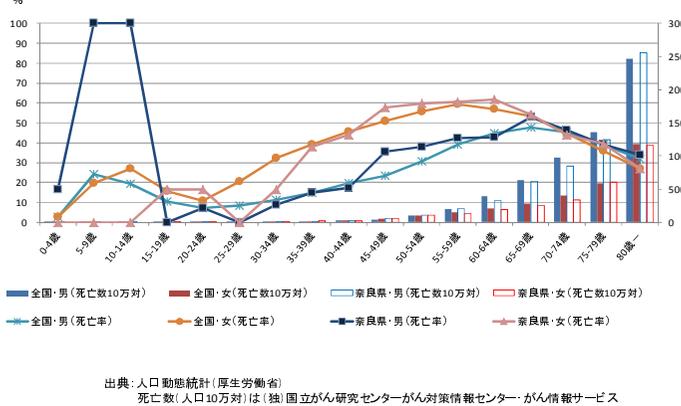


図1 主な死因別死亡率の推移(人口10万対)



・本県におけるがん死亡数は、昭和54(1979)年に脳血管疾患を上回り、死亡原因の第1位となり、それ以降も増加傾向をたどっている。(図1)

図2 年齢階級別のがんによる死亡数(人口10万対)、総死亡数に占める割合(平成27年)



・平成27(2015)年の死亡数の状況を年齢階級別にみると、がんによる死亡数(人口10万対)は、全国と同様に、40歳代以降、年齢が上がるにつれて増加している。また、総死亡数に占めるがんによる死亡の割合は、全国と比べて、男性については、45~59歳、65~74歳、80歳~で高くなっている。また、女性では若年層を除き、全国と比べて45~69歳、75~79歳で高くなっている。(図2)

図3 奈良県の主な死因別死亡数(平成27年)

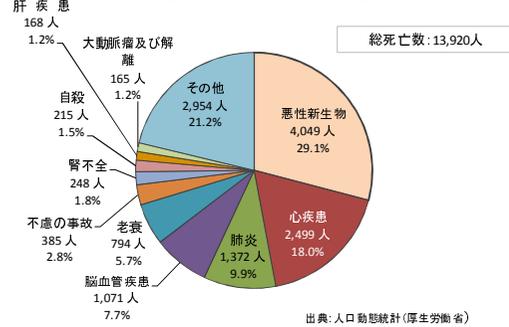


図4 全国の主な死因別死亡数(平成27年)

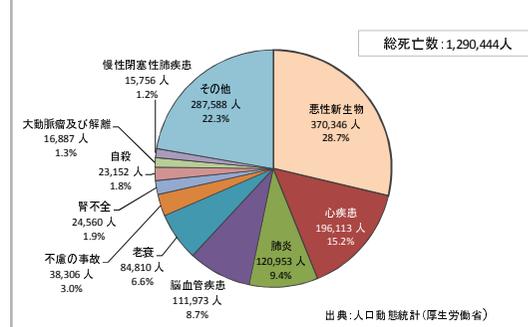


図5 奈良県の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成27年 男性)

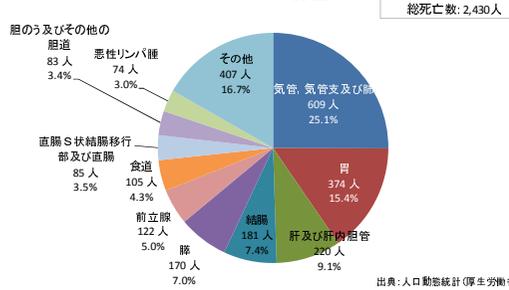


図6 全国の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成27年 男性)

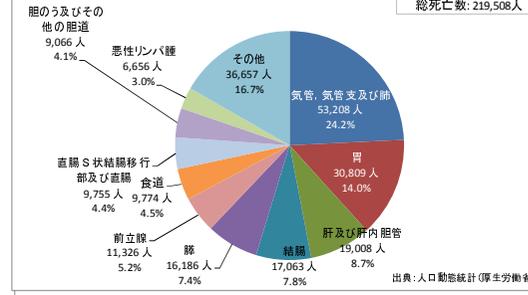


図7 奈良県の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成27年 女性)

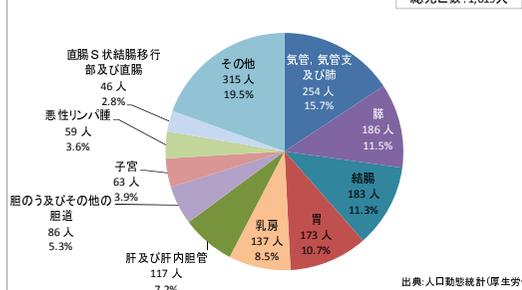
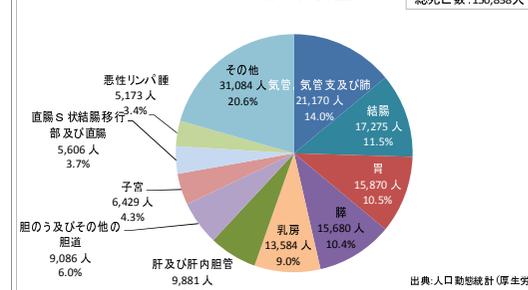
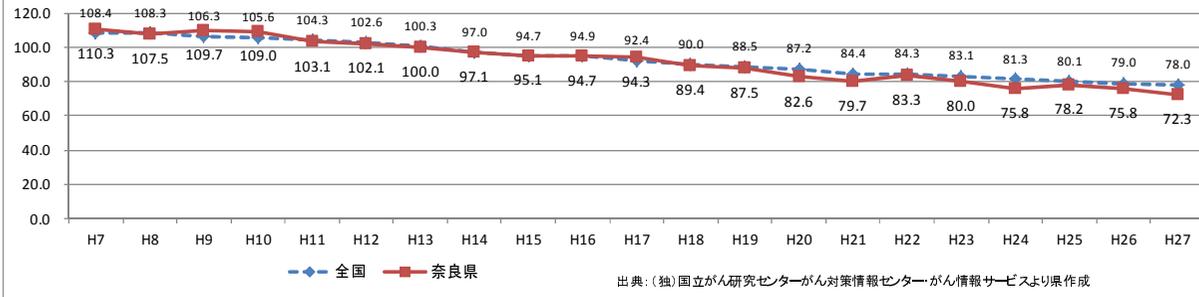


図8 全国の悪性新生物(がん)死亡数の内訳(平成27年 女性)



・平成27(2015)年のがんによる死亡数は4,049人で、総死亡数に占めるがんによる死亡数の割合は29.1%(全国28.7%)となっている。(図3、図4)
 ・平成27(2015)年のがんによる死亡数についてがんの部位別にみると、男性の場合「気管、気管支及び肺」(25.1%)が最も多く、次いで「胃」(15.4%)、「肝及び肝内胆管」(9.1%)の順となっている。女性の場合は、同じく「気管、気管支及び肺」(15.7%)が最も多く、「膵」(11.5%)、「結腸」(11.3%)の順となっている。(図5、図7)

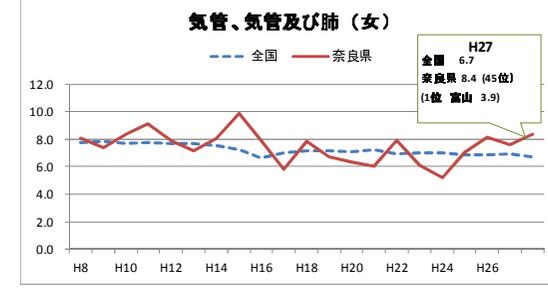
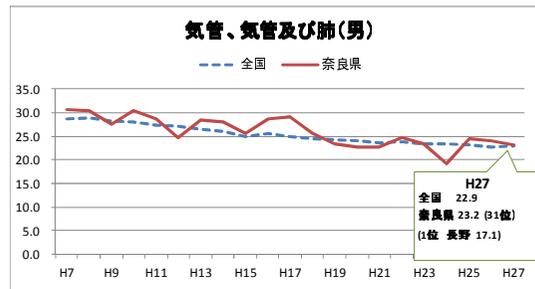
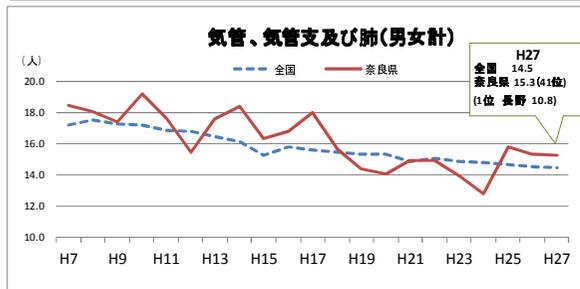
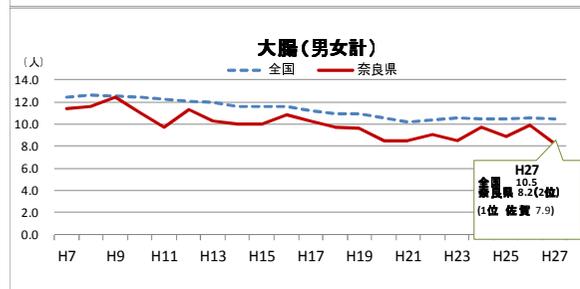
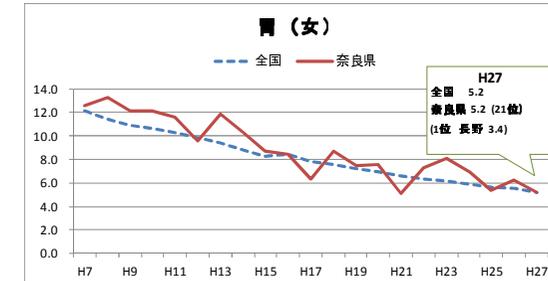
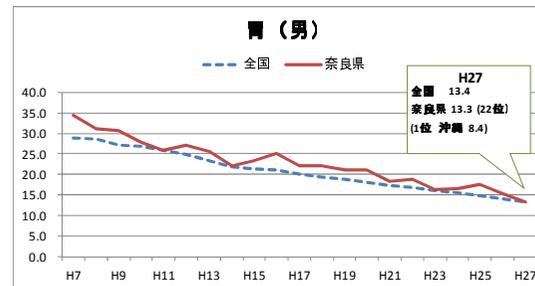
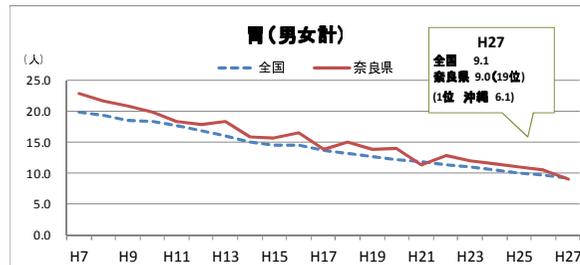
がん年齢調整死亡率の推移(75歳未満:人口10万対)

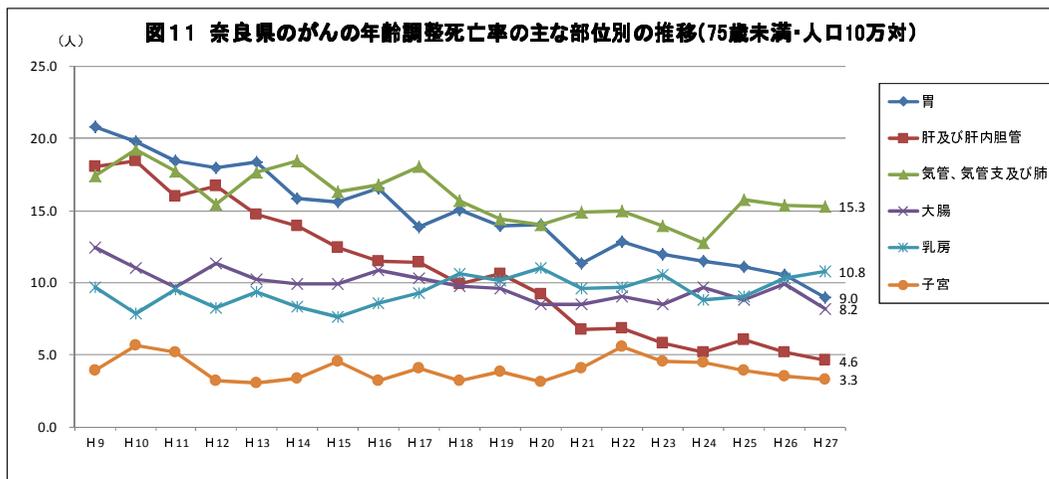
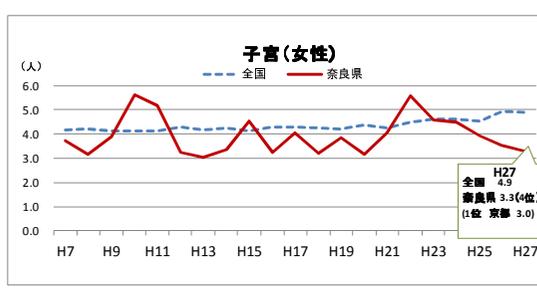
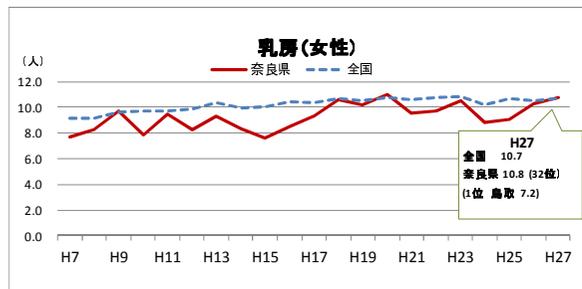
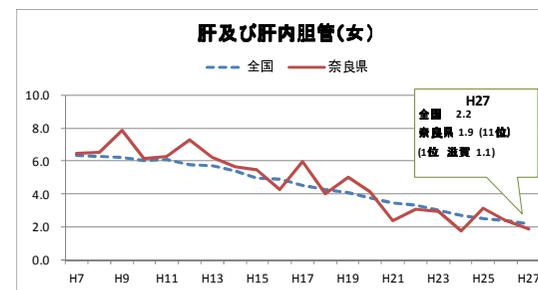
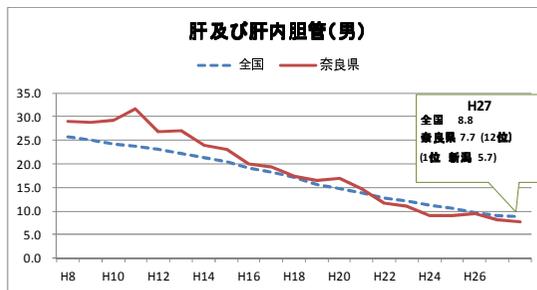
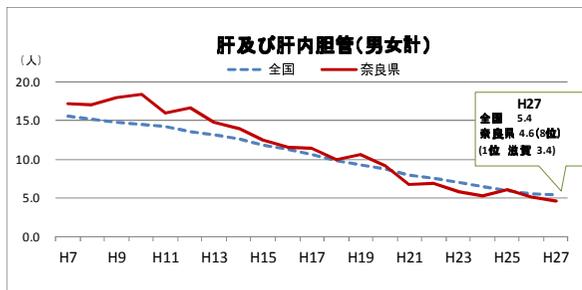


・がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対)の推移をみると、年々減少傾向にあり、平成27(2015)年では、72.3(全国78.0)となっており、平成18年以降、全国値を下回っている。(図9)
 ・主な部位別について、全国との比較では、「気管、気管支及び肺」については全国値を上回る状況で推移しているが、「大腸」、「子宮」はおおむね全国値を下回る状況で推移している。(図10)

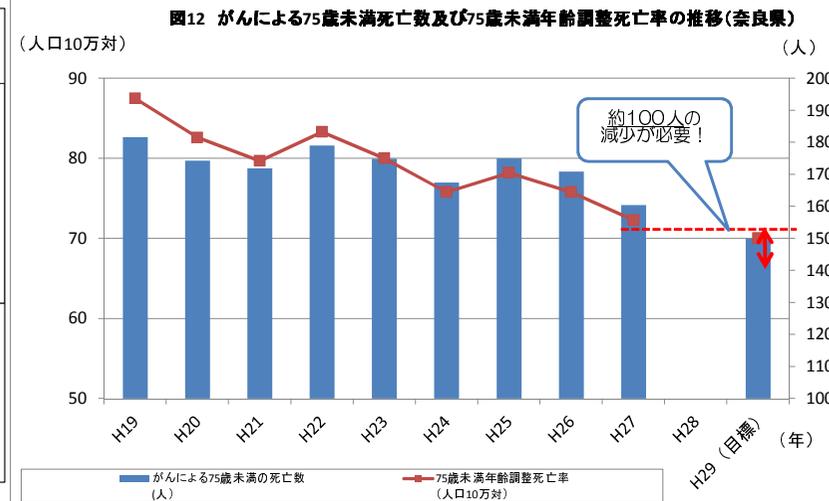
《年齢調整死亡率》
 年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率。

図10 主な部位別 がんの年齢調整死亡率の推移(75歳未満:人口10万対)





・主な部位別に経年変化を比較すると、「胃がん」「肝がん」については、減少傾向だが、「乳がん」については、やや増加傾向で推移している。



| | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29(目標) |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|
| がんによる75歳未満の死亡数(人) | 1,816 | 1,743 | 1,719 | 1,790 | 1,749 | 1,675 | 1,750 | 1,709 | 1,604 | | 1,500 |
| 75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) | 87.5 | 82.6 | 79.7 | 83.3 | 80.0 | 75.8 | 78.2 | 75.8 | 72.3 | | 70.0 |

奈良県のがんに関する現状について (2. がん罹患の状況について)

図13 奈良県の悪性新生物(がん)罹患割合 (平成24年 男性) 総罹患数: 5,769人

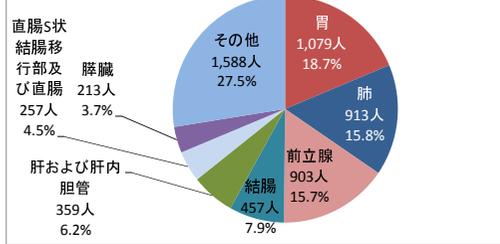
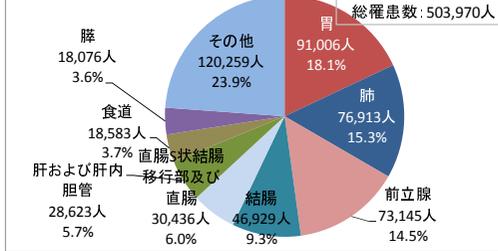


図14 全国の悪性新生物(がん)罹患割合 (平成24年 男性) 総罹患数: 503,970人



・がんの罹患数について部位別にみると、男性の場合「胃」(18.7%)が最も多く、次いで「肺」(15.8%)、「前立腺」(15.7%)の順となっている。女性の場合は「乳房」(19.8%)が最も多く、次いで「胃」(12.4%)、「肺」(10.4%)の順となっている。(図13、図15)

図15 奈良県の悪性新生物(がん)罹患割合 (平成24年 女性) 総罹患数: 4,048人

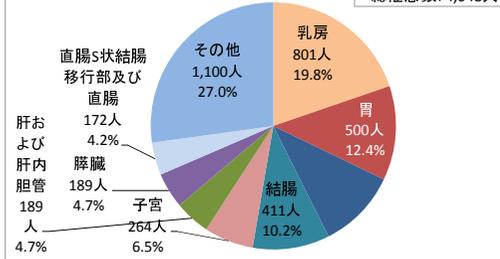
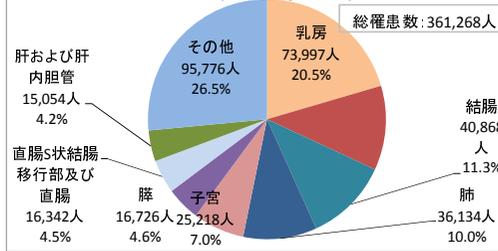


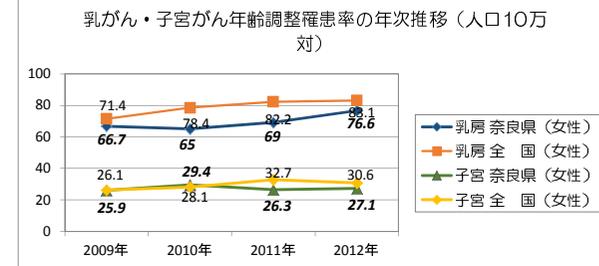
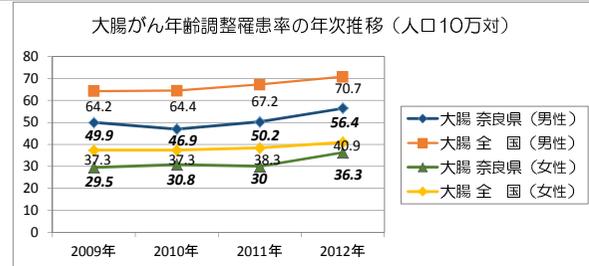
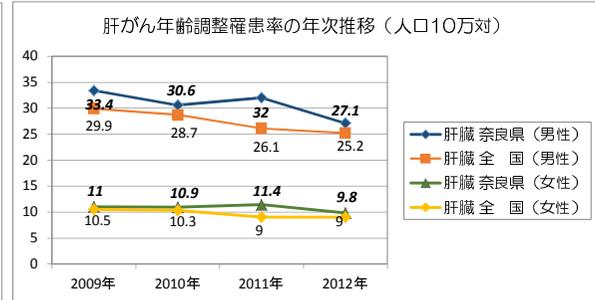
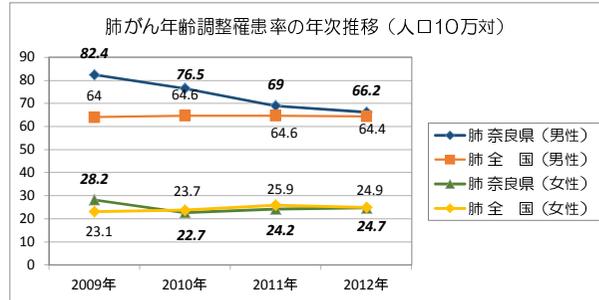
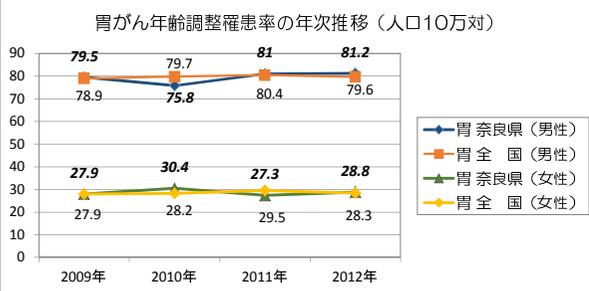
図16 全国の悪性新生物(がん)罹患割合 (平成24年 女性) 総罹患数: 361,268人



* がん罹患率については、地域が登録でき把握できないが、奈良県では2012年症例より精度基準Aを満たしている。
 全国推計値として国立がん研究センターが公表している全国データは、精度基準Aを満たした28県からなっている。
 [28県: 青森県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県]

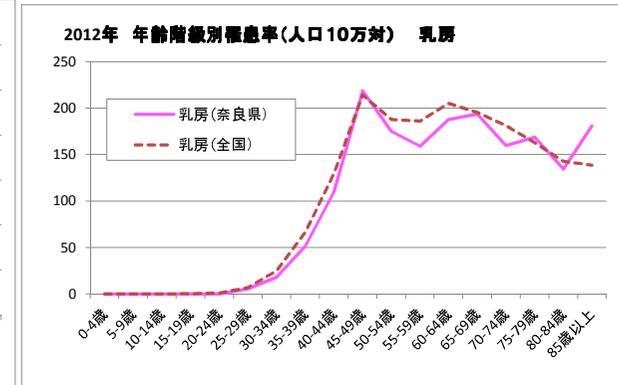
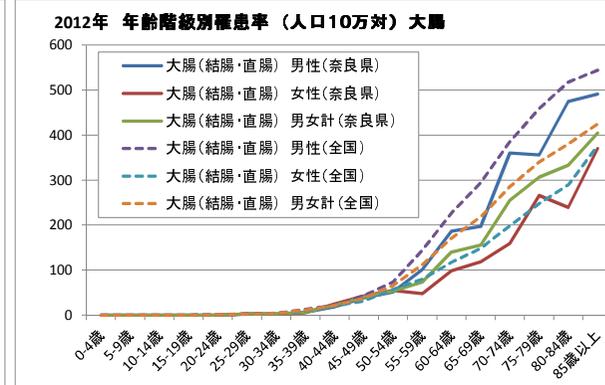
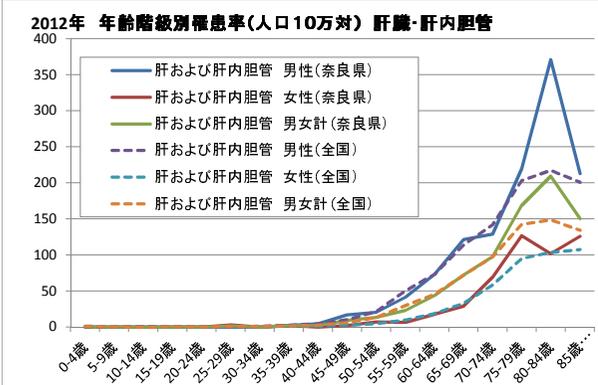
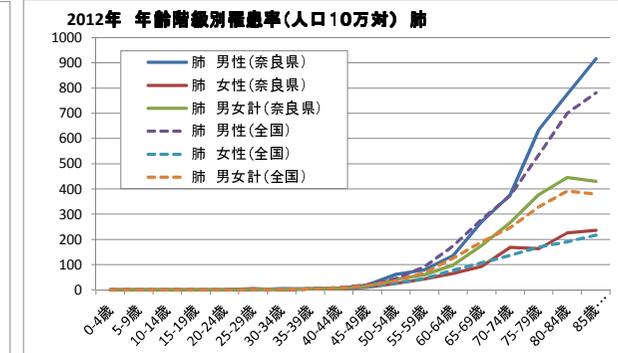
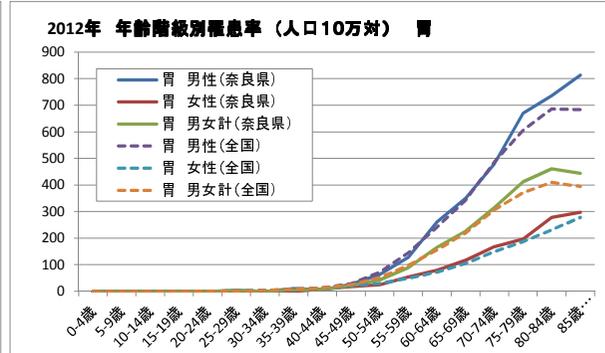
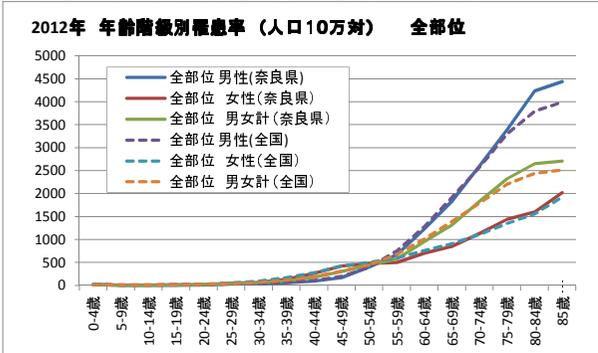
出典: 全国がん罹患モニタリング集計 2012年罹患数・率報告 (国立がん研究センターがん対策情報センター)

図17 主な部位別 がんの年齢階級別罹患率(人口10万対)



出典: 奈良県のがん登録

図18 主な部位別 がんの年齢階級別罹患率(人口10万対)



・がんの年齢階級別罹患率をみると、「胃」については全体的にどの年齢層も全国値を上回っており、また「肺」については50～60歳代は全国値より低く、70歳代以上は全国値より高い状況であった。反面「大腸」については、全国値を下回っている状況。（図18）

出典:奈良県のがん登録